

議員全員協議会

日 時	令和 6 年 7 月 17 日（水）閉会中	8時56分 開会 10時08分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 大会議室	
出席議員	議長 16 番 村田博英 副議長 15 番 原口康之	
	1 番 石山和生 2 番 谷口恵世 4 番 名波和昌	
	5 番 加藤 彰 6 番 木村正利 7 番 松下定弘	
	8 番 種茂和男 9 番 濱崎一輝 10 番 植田博巳	
	12 番 太田佳晴 13 番 中野康子 14 番 大石和央	
欠席議員	3 番 絹村智昭	
事 務 局	局長 前田明人 次長 浅井大典 書記 本杉周平 書記 中田 綾	
説 明 員	市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、政策監、 健康推進部長	
傍 聴		

署名 議長

開会の宣告

○議長（村田博英君）

それでは、議員全員協議会を始めます。

2 市長報告

○議長（村田博英君）

まず、市長報告をお願いいたします。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは皆さんおはようございます。

私のほうからは、4点ほどございますので、報告をさせていただきます。

まず初めに、地区長会の視察研修ということではありますが、地区町会の皆さんと7月2日、3日に視察研修で友好都市の熊本県人吉市を訪問いたしました。松岡市長をはじめ市職員などの歓迎を受けたところであります。

人吉市とは、歴史的なつながりが深いことから、昭和34年頃より交流が始まりまして、平成23年には災害時応援協定を締結するなど、交流を深めております。

今回の視察研修では、令和2年に発生いたしました豪雨災害からの負旧・復興の状況や、発災に対して自治会が果たした役割などを、担当職員や自治会役員の皆さんから説明をいただきました。

また、比較的高い場所に位置をしながら浸水被害を受けた国宝青井阿蘇神社、そして被災者に寄り添い、コミュニティの形成につながるよう配慮された災害公営住宅を視察させていただきました。

そして、球磨川沿いで営業する農村レストラン、農泊施設ひまわり亭では、災害時の食を通じたボランティア活動の実情や地域の絆、日頃の備えの大切さ、女性参画の重要性などについて、本田 節代表の熱い思いを伺えたところでもあります。

豪雨災害から4年が経過し、着実に復旧、復興が進む人吉市の現状は、当市の防災体制にも大きな大変参考になるものであります。

続きまして、甲州市等への訪問・PR活動についてということでもあります。

静波海水浴場、さがらサンビーチの海開きに際しましては、市議会議員の皆さんにも、雨の中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

海開きの前に毎年行っております、山梨県甲州市をはじめとした山梨県内自治体4市1町への訪問を、7月1日、2日に実施をいたしまして、山梨放送でのラジオ生出演、甲州市長との面会を通じまして、市の魅力をPRしてまいりました。

観光相互交流を行っている甲州市とは、合併前より、各イベントへの出店などを通して、市民相互の友好を深めてまいりました。

また、3年前の竜巻災害時には、被災者全戸にお見舞いと早期復旧を願い、さくらんぼを送っていただき、コロナ禍においても、商工会や観光協会、まきのはら活性化センター

を通じて、お互いの特産品販売を通じた交流を進めてまいりました。

最近では、中部横断自動車道の開通により、両市の交通の便が向上したことに伴いまして、さらに「人、モノ」の行き来が活発になってきており、観光交流を今以上に深めていく必要があります。

また、今年度から実施をしている事業で、牧之原市にスポーツを通じて宿泊していただいた団体を助成するスポーツ合宿補助金と、7月10日から新たに始まりましたデジタルポイント「まきペイ」を紹介し、牧之原市への来訪を宣伝いたしてまいりました。

9月7日のさがら海上花火大会では、甲州市の皆様が当市へ訪れ、花火を楽しんでいただくとともに、両市の観光交流分野における協力体制を強化することを目的としまして観光交流に関する協定を締結し、両市の交流人口の増加と地域経済の発展につなげていきたいと考えております。

それでは続きまして、市民トークの開催状況についてであります。

市の取組や地域課題などを説明するとともに、市民の皆さんと意見交換を行うため、例年、市民トークを実施しております。

令和6年度は7月1日から7月29日までの開催期間であり、昨日までに10地区中6地区で実施済みとなっております。

開催状況につきましては、以下の表のとおりであります。

当日は、まちの話題、各種施設のオープン、あるいは大河ドラマの活用など、リニア中央新幹線、人口問題、まちの強みを説明した上で、市が進める第3次総合計画の取組を説明し、その後、地区からの質問等に対してお答えをさせていただきました。

また、今年度は、各地区の関連施策を中心とした説明内容にすることで、より地域の皆さんの関心が高く、理解が深まる会となるよう工夫をしております。

市の取組に対する関心や理解を深めるとともに、地域の皆さんからの意見を今後の取組に反映することで、地域と一体となった施策の推進を図ってまいります。

続きまして、国、県への要望活動についてであります。

第3次総合計画の重点戦略・プロジェクトの財源確保に係る要望活動について、説明をいたします。

まず1点目、レベル1津波対策施設。現在、国、県、市によって整備が進められている市内レベル1津波対策施設の整備につきましては、全体計画延長1万4,996メートルのうち、令和5年度末の整備延長は6,274メートルで、整備率は41.8%という状況であります。

市民の生命財産を守る重要な施設でありまして、市民が安心して暮らせる環境を確保するため、津波対策施設の整備促進について、昨日7月16日ではありますが、鈴木知事に対しまして直接、要望書を手渡しました。

この要望には、市議会から正副議長、総務建設正副委員長をはじめ、大石県議、沿岸部の各地区長に同行いただいて、当市の現状や市民の不安を訴え、事業着手区間のさらなる整備促進や、未着手部分の早期実施、予算確保を図っていただくようお願いし、鈴木知事からは、早期の整備促進に向けて、力強い回答をいただいたところであります。

なお、7月23日には、同様の内容について、国土交通省、農林水産省への要望を行う予定であります。

次に、富士山型ネットワークの充実ではありますが、7月18日には、国土交通省に対して、

第3次総合計画の重点戦略・プロジェクトに位置づける富士山型ネットワークの充実への支援として、道の駅「そらっと牧之原」の整備支援をお願いするとともに、島田市と合同で主要地方道吉田大東線（南原工区）に係る道路予算の確保を要望してまいります。

焼津市、藤枝市の市街地及び東名高速道路吉田ICから富士山静岡空港へのアクセス向上を図り、道の駅との相乗効果によって地域産業のさらなる発展を実現してまいります。

なお、昨日7月16日には、藤枝市、焼津市、島田市、吉田町とともに県交通基盤部長、島田土木事務所長、国土交通省静岡国道事務所長に対して、富士山静岡空港アクセス道路等の建設促進要望を行い、その中で主要地方道吉田大東線の早期完成要望も行ってまいりました。

3点目であります。御前崎港であります。

港湾施設の老朽化への対応や、大規模災害発生時の安全安心の確保などにより、今後の安定的な物流機能を確保するため、現在、国、県で進めています施設整備などに関する要望を7月16日に県に対して行い、7月22日には、中部地方整備局に対して行うことを予定しております。

また、御前崎港全体の貨物量の約半分を取り扱う「西ふ頭1・2号岸壁」における船舶大型化への対応や、西ふ頭14メートル岸壁の第2バース及び防波堤の延長、御前崎港開港50周年を契機に港周辺で活動する企業・団体等が取りまとめた御前崎港将来ビジョンを今後の港湾行政に反映することについても要望を行います。

御前崎港は、静岡県中西部地域の自動車をはじめとするものづくり産業を物流拠点として支える一方で、海洋レクリエーションの利用やクルーズ船の寄港など賑わい拠点にもなっており、地域産業や交流・賑わいの拠点としてのさらなる活用を進めてまいります。

今後も、国、県との円滑な連携を通じまして、各施設の整備促進を図り、地域の安心安全、利便性向上、地域産業の発展につなげてまいります。

私からの報告事項は以上であります。

○議長（村田博英君）

市長報告が終わりました。皆様から何か質問がありましたら、どうぞ。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

この中にはないんですけれども、先月の全協で、新幹線の静岡新駅について島田市との少し考え方が違いというのを、市長にお話を聞いたんですけれども、その時点だと染谷市長とも、そんなに差はないというような説明を受けたと思うんですけれども、その後、新聞報道で染谷市長のコメントの記事が載っていたんですけれども、染谷市長によると、静岡空港のピークの利用の人数からいったときに、1日の利用者を弾いてくと、今のあそこに静岡新駅をつくることについて少し疑問を呈すような、そういうコメントだったんです。

だから、その辺が一番やっぱり島田市と牧之原市が、一緒に一つの思いで今後陳情していかないと、なかなか大変だと思うんですけれども、その辺、市長はどのように捉えているかということと、もう一つは知事が代わりまして、それでリニアの問題について、かなり今の知事は選挙戦でもリニアのことを訴えて、かなり前のめりになって、確かに進捗というのはスピード感を持って進めている、これは感じるんですけれども、ただ、大事なことは、ずっと前知事が言い続けていた水を守るといって、そこに立ってみると、一番新幹線

の問題と一緒に、この牧之原市って非常に流域、特に下流部で将来、今後何十年、何百年に及ぶ水を使っていくということを考えると、一番ポイントになる市だと思うんです。

そういったことで、今後知事に対して、流域の市町でどのように対応していくのか、その辺をしっかりと、またお願いしたいし、市長の今の考えを少しお聞かせ願いたいと思います。

以上です。

○議長（村田博英君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

まず、新幹線新駅の話でございますが、昨日も、先ほど申しました要望で、染谷さんともお会いしまして、要望の待ち時間ではありますが、少し意見交換をしました。

染谷さんの認識は、新幹線新駅が不要だということを言っているのではないと。とにかく今の現状の中では、誰が負担するのか。これがはっきりしていないという中で、あまり要望めいたことをやると、負担が周辺市町へも及ぶ危険性があるから、少し牽制をしているんだというような考えでありました。

一方、私のほうは、今回のいわゆるリニア新幹線新駅の問題というのは、東京から大阪までの9都府県の知事が促進同盟会をつくっています。その中で、駅が必要だと、静岡空港新駅が必要だということを、いわゆる国家プロジェクトとして必要だということをおっしゃっていることであって、これまでの掛川とか、そういった地域の利便性を高めるための請願駅ではない。これは故に我々が負担するものではないし、請願駅ではない。なので、これは当然JR東海は、沿線の駅は全て100%JR東海が負担するんですね。

ですので、静岡にとっても経済的なメリットということからすると、まずはJR東海が負担するということに入っていくって、その後いろんな交渉を重ねる中で、国が支援するとかいうことになってくるだろうと。これについては、6月の末に私は鈴木知事ともお会いしましたがけれども、その辺の考え方を知事と確認しておりますが、知事も、当然JRに負担を求めるんだと。なので、そういった考え方でいくので、地域の負担を求めることはないということ、私のところに断言していただいたので、そういった中で進めるということですので、私も、こちら要望することではないと思いますよということ。だから、こちら辺のスタンスは染谷さんと一緒だよという話はさせてもらいました。

それが一つと、それからあと利用者の問題ですが、これは今の現状の利用者では、いわゆる設置には至らない。一方で、静岡県が既に予測をしています。静岡空港新駅にひかりが1本、こだまが3本とまったとするならば、西は浜松や豊橋、あるいは三島や神奈川県からも、小田原からも利用者が増えると。少なからずとも200万人の利用があるだろうと。新幹線の駅の利用者も200万人を超えるだろうという予測がされていますので、そういったものを踏まえていけば、可能性は当然あることだし、大きいのはやっぱり推進協議会が必要だということをおっしゃっているわけですね。

それともう一つは、一番これまでと変化したのは、JR東海が、これまで門前払いだった。これが、いわゆる対話に応じるという形で軟化をしてきているということですので、ここはやはり知事もそういった形で、前向きに捉えていますので、そういった知事の動きを私は応援していきたいというふうに思っていますし、それに向けた形で私も努力してい

きたいというふうに思っているところであります。

それから、水と環境の問題です。これについては私も、これを抜きに前のめりにやろうという考えは全くございません。今、長野県とか、岐阜県とかいろんなところで問題が出ています。やはりJRの体質というのは、そういった体質があるということは、もう一回ここで確認できたというか、相当しっかりと対処していかないと、いざというときに逃げられてしまっただけは何もならないということですので、そこについてはしっかりとJRとの県との契約といいますか、確認といいますか、そうした担保を取ることと、それについて国もしっかりと、そのところについた形で、国も担保するというところの確証を取ることとは絶対必要だというふうに思っています。

それから、今度、来週ですけれども、流域8市2町の会議があります。知事との意見交換会が予定されていますけれども、その場においても私はそのことについてしっかりと知事にはお伝えをしたいと思っておりますし、山梨県内の3項目、長尺先進ボーリングと先進坑、それから本坑、これの山梨県内の工事着手について三者合意したということが報じられていますけれども、これについても少し意見を申し上げたいと思っておりますのは、あくまでもボーリングをやった結果として大丈夫だと、予測以下だということが立証される、あるいは今まで山梨の水とか静岡の水って言っていました。それが本当に静岡の水が抜けているのかどうかと、これは検証できると有識者の専門家も言っていますので、そういった解析、分析をした上で、それから先進杭、本杭へと移っていただきたいということについては、意見を申し上げたいというふうに思っています。

○議長（村田博英君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

どちらの問題もそうですけれども、特に水の問題は市民の、そういったものをしよって、唯一発言できるのは市長しかおりませんので、ぜひとも、その責任の上で、しっかりと知事にも伝えてもらいたいと思うし、国事案に対しても、しっかりと環境の問題を、まずはしっかりと担保するというのを、前提にお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（村田博英君）

このほかございますか。

中野議員。

○13番（中野康子君）

すみません、健康推進のほうですけれども、8020って80歳で20本の歯を大切にしている方たちを表彰する行事があります。

その中で、歯科医さんたちは、市の健康状態を知る大きなバロメーターであるということをおっしゃってくださっております。たまたま市で2日間用意した日に、出席できない方に対して、商品の用意があるので出欠は早くしていただきたいという言葉があったんですけども、何人出てくれるかが大切だというふうに私は思っています。

そういう中で、自分は歯に自信があるという方たちがいるんだけれども、免許証を返納してしまったとか、それから当日都合が悪いという方が行かれなくて、そういう場を逃してしまうというのは、やはり市にとっても、やっぱりいろんなところで8020の表彰という

のは結構、島田なんかはちょっと大きくやっつけていらっしゃるんですよ。だから出席できない場合にかかりつけの歯科医さんに多分行っていらっしゃる方が多いと思うので、そういう方たちに証明書を出してもらってもよろしいのではないかというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○議長（村田博英君）

健康推進部長。

○健康推進部長（河原崎貞行君）

お答えします。

他市の場合ですけれども、個別の受診を実施しているというところもあると聞いています。あと、中野議員がおっしゃったように、高齢者世帯の各家庭の事情というところもありますので、その点、今の状況と今後どうしていくかというところは、ちょっと担当と課内のほうで検討のほうをさせていただきます。

○議長（村田博英君）

そのほかはございますか。

[「なし」と言う者あり]

○議長（村田博英君）

なければ、以上で市長報告は終わります。

3 議長・関係議員・委員会報告（1） 会議等の結果

○議長（村田博英君）

それでは引き続き、全員協議会を続けます。

続きまして、議長・関係議員・委員会報告をお願いいたします。

まず、私から報告をいたします。

6月27日、浜岡原子力発電所安全対策協議会理事会と総会があり、正副議長で出席をいたしました。事業報告、決算、それから6年度事業計画、予算を審議し、全て可決されました。

6月28日、第9回日中書道交流レセプションが行われまして、正副議長で参加をいたしました。約100人が参加して、政治のほうはいろいろとギクシャクしておりますが、民間のこういう交流は非常に盛んに継続をされているということでございます。

29日は日中書道交流展がありまして、参加された議員の皆様、ご苦労さまでした。出展は、中国が64名の方、日本が90名の方の出展がございました。

6月30日、道の駅の起工式がありました。参加された皆さんご苦労さまでした。大いに期待されますが、どのような具合になるか、市民は関心が高い道の駅でございます。

7月3日、第1回市町村駅伝実行委員会がありました。今年は95名、小中学生のある中で、そのうち一般が15名の参加をしております。去年は23位でございまして、少しずつ上がり調子にはなっているということでございますが、今年は20位以内を目指して頑張りたいという話、目標でございました。

私は充て職で顧問になっております。監督は大石佳伸さんで、コーチは大澤友裕さんでございます。

7月4日、静岡空港利用促進協議会総会がありまして、これも決算事業計画の報告、そ

れから役員改選と全て可決をされました。今年の搭乗者の目標は74万人ということで、これは達成可能ではないかということで、取り組んでいきますということでございます。

7月6日、消防フェア、暑い中の訓練で、消防士の皆さん一生懸命やられておりましたが、市民の関心も高いといいますか、いろんな出し物がありまして、暑かったんですが、皆さん参加されておりました。参加された議員の皆さん、ご苦労さまでした。

7月10日、令和6年度の原子力発電環境安全協議会がございました。決算事業報告、6年度予算、事業計画があり、全て可決されました。

7月16日、先ほど市長から報告がありました防潮堤整備に係る県庁、県知事に対しての要望活動を行いました。相良、片浜、相良港、地頭方、新庄、これらが未着手のところがあって、榛原地区といいますか、川崎港、昔の、そこまでは意外と進んでおりますが、それから西側が未着手のところもあって、473号線が1号線とつながって、非常に活況を呈してくるのではないかとという中で、浜岡原発有事の際は、能登半島のようなことにならないように早く防潮堤の整備を行ってほしいということをお願いしてきました。

私からは以上でございます。そのほかの皆さんから、お願いします。

副議長。

○15番（原口康之君）

7月8日に御前崎市牧之原市学校組合議会の臨時会がありました。

4月の市議会選挙において、6人の議員が選出されております。引き続きの臨時議会では、議長選挙と同意第1号が議題に上がりました。議長には渥美議長が選出されております。

同意第1号では、組合議員の監査の選任について議題に上がり、増田正行氏が選任されております。

引き続きの全員協議会では、御前崎市の議員からは牧之原市の学校再編についての進捗の質問があり、橋本教育長からお答えしている状況がありました。

それから、私からも少し御前崎中学校の登下校についての安全管理について質問をいたしました。

以上です。

○議長（村田博英君）

そのほか。

濱崎議員。

○9番（濱崎一輝君）

7月10日、4市議会茶業振興情報交換会に正副議長及び総務建設の正副委員長にて出席をいたしました。こちらの4市議会の情報交換会ですけれども、掛川市、菊川市、牧之原市、島田市となっております。

こちらは、お茶を基幹産業としている牧之原台地に関係する4市において、お茶に関する情報交換会及び協力体制を構築することを目的として、平成29年に発足しております。

このたび、各市からの県への要望を取りまとめ、4市として要望書が出来上がりました。これによって、これまでの役割と目的が完結するということになるため、一旦この会を解散することになりました。また今後は、必要に応じてこの会が参集することになり、4市において承認されました。最終的には、要望活動ということで7月26日に4市議会の正副

議長が、県経済産業部農林水産担当部長に要望書を提出というふうになっております。

以上です。

○議長（村田博英君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

7月11日ですけれども、大井上水道企業団の全員協議会がございました。

前回の料金値上げから6年ほどしかたっていない中で、今回の値上げの答申が出されました。出されたことの議会への説明でありました。令和7年6月以降に、よって料金値上げが予定されております。

その前は20年ほど値上げがありませんでしたけれども、今回6年程度ということで、市民の皆様には丁寧な説明をしていくよう議会として申し上げております。

以上です。

○議長（村田博英君）

植田議員。

○10番（植田博巳君）

6月27日ですけれども、例月現金出納検査、一般会計、水道会計、五つの特別会計に、坂部の財産区特別会計の出納検査を実施いたしました。特に問題ございませんでした。

それから、午後が財政援助団体の監査ということで、社会福祉協議会の監査を行いました。市の社会福祉課から補助金の概要の説明、それから福祉協議会から補助金事業の内容、決算概要の説明を受け、書類審査等を実施いたしました。結果は監査報告として別途報告いたします。

以上です。

○議長（村田博英君）

そのほかありますか。

[「なし」と言う者あり]

○議長（村田博英君）

では、報告は以上といたします。

3 議長・関係議員・委員会報告（2） 議会運営委員会

○議長（村田博英君）

次に、議会運営委員会、委員会報告をお願いいたします。

加藤委員長。

○5番（加藤 彰君）

議会運営委員会です。

7月5日ですけれども、まず6月定例会の振り返りについてということですが、大きく3点について意見が出されています。

一つは一般質問の通告書の関係について、二つ目が一般質問に係る事前ヒアリングについて、3点目は補正予算連合審査における質疑についてであります。

まず通告書について、市長から通告外と言われたようなこと、これまでにないことであったと、そういうことでございましたので、早急に一般質問の研修会を開催するなどして、

改善に努めるべきであると。ただ、もともと研修会自体を考えていたわけでありましたが、時期を早めて実施していくこととしましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

また、研修会は以前も実施をしておりますが、内容に少し偏りがあつたように感じたとの意見もございましたので、その辺りも踏まえた中で、講師選定を進めていきたいと思ひます。

ほか意見としましては、通告書についても事務局が修正はしているが、当局から見ても理解しやすいものをつくつていかななくてはいけない。また、AIを活用して作成した人がいるとのこと。AIが悪いわけではないが、最終的には本人がしっかり確認し、つじつまが合うようにしなければいけない。また、内容的に個人を特定するおそれがあるようなものであるなら、その点は問題ではないか。

次に、事前ヒアリングは設定されたヒアリング時間の中で完結すべき。別に何度も実施することで、当局の負担になってしまう。また、綿密にやり過ぎてしまうと、当日は確認するだけになってしまい、緊張感に欠けることにもなる。ヒアリングは確認し合う場であつて、あくまでも1時間の持ち時間を効率よく進めるためのものであることを理解する必要があるというようなことでもございました。

そして三つ目、補正予算連合審査における質疑については、質問と質疑をしっかりと区別すべきであるということでもございます。

6月定例会の振り返りについては、以上となります。

次にイとしまして、令和6年度の議会報告会についてということでもありますけれども、資料が1-2をつけてございますので、そちらをご覧をいただきたいというふうに思ひます。

まず2の報告内容であります、(1)の第1部は議会報告会の開催要項で決まっていることではあります、令和5年度決算審査報告と各常任委員会活動報告といたしました。

第1部の時間は30分ほどを考えていますが、各報告の説明時間は7分、8分程度を想定しています。委員会の説明の順番としては、第2部の意見交換につなげやすいよう、配慮していきたいと思ひます。

また、質問時間は設けずにアンケート用紙に記載いただくこととします。

次に第2部は、まずアの意見交換のテーマについてであります、各常任委員会におけるこれからの所管事務調査事項とします。榛原会場、相良会場で各1回ずつ行うとします。

次に、形式は一昨年度のようなワークショップ形式としたいというふうに考えております。

なお、この時間は60分ほど、19時開始で20時30分をめぐりに終了したいというふうに考えています。

次に、3の班編成についてであります。

(3)の今年度の対応のほうをご覧いただけますでしょうか。まず二つ目の黒ぼつです。昨年度からの変更点としては、会場数が増えている、2会場から4会場で、ほかは大きな変更はございません。

今年度の対応であります、班編成は行わず、4会場とも全議員で対応したいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

当日の役割としては、(2)に記載のものを基本とします。(2)のほうを見ていただきますと、二つ目の黒ぼつ、当日の役割としては、進行とか挨拶、報告、受付記録など書

いてございますけれども、おおむねこのような形でしていきたいというふうに考えておりますので、ご確認をいただきたいというふうに思います。

次に4、Web配信ですけれども、参考として昨年度、一昨年度は会場の様子を撮影したものを配信、内容は一部のみとなりますが、この形で今年度も実施したいというふうに思います。第1部を対象とし、当日の会場にて撮影したものをユーチューブで流すとしたいと。議長の挨拶は別撮りいたします。

(2) 作成者について。例年、機器に詳しい議員が担当しているということで、今年度、名波議員を中心に作成することとしてお願いをさせていただきました。

(3) 配信開始日につきましては、後日検討してまいります。

次に5、アンケートについては、昨年度同様、実施するとします。

(2) 内容については、当日は質問時間を設けないとしましたことから、一昨年度と同様に、議会報告会に関する質問欄を入れることとします。質問への回答は各委員会で責任を持って作成し、最終的には議会として回答するとします。方法はホームページへの掲載等を考えております。

次に6、周知方法であります。自治会行政連絡会が9月10日(火)9時から榛原庁舎で行われますので、そこで開催チラシ等を資料として提出したいと、その段取りを進めてまいります。

(2) 各種団体や商工会への周知では、周知時期は自治会への周知時期と同様に考えています。周知先は8月5日の議運で検討すると考えています。

(3) 定例記者懇談会は①と②とありますが、①の日程で情報提供をするとしました。

(4) 市議会ホームページ等ではありますが、例年どおり実施するとします。

次に7、役割分担ということで、周知関係は私のほうでチラシを作成いたします。

次に、第1部関係は、決算審査報告ということで、これは議会運営ということで、私と原口副議長とし、あと二人は追ってお願いをさせていただきます。

常任委員会の活動報告は、総務建設委員会のほうは濱崎委員長、松下副委員長、文教厚生委員会は谷口委員長、名波副委員長ということになります。なお、両委員会であと一人ずつ担当を委員長のほうで決めていただくようお願いいたします。また資料は、各委員会で責任を持って作成のほう、よろしくをお願いいたします。

次に、第2部関係ではありますが、テーマについては、各常任委員会における、これからの所管事務調査事項とするとしてしています。どのような方針で行うかについては、ワークショップ形式で実施することとしたので、今後、議運にて詳細を検討してまいりたいと考えております。

最後、Web配信関係は、4のところでも触れましたけれども、リーダーは名波議員でほか二人は機器の取扱いに詳しい議員に依頼することとしたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

次に、ウ、その他であります。

一つ目の黒ぼつで、静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の結果について、そして第18回東遠議員交流フォーラム開催について、この二つともその他で事務局から説明をお願いしたいと思っております。

次に7月12日ですけれども、ア、陳情の取扱いについて、郵送によるものとなります。

資料2がつけてありますが、件名は母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情となります。郵送であることから、申し合せ事項に基づき、資料配付とすることとしましたので、報告させていただきます。

次に、イ、その他、議員勉強会についてであります。その他で事務局から説明をお願いします。

以上、報告を終わります。

3 議長・関係議員・委員会報告 (3) 総務建設委員会

○議長（村田博英君）

総務建設委員会、お願いします。

濱崎委員長。

○9番（濱崎一輝君）

総務建設委員会といたしましては、7月1日から3日に委員会の視察研修を行ってまいりました。委員会では、地域資源を活かした農業振興についてということで所管事務調査事項をやっておりますけれども、このため四つの先進地への視察ということで行ってまいりました。

まず一つ目が福井県若狭町、二つ目が滋賀県東近江市、三つ目が滋賀県甲賀市、四つ目が京都府和束町でございます。

福井県若狭町につきましては就農支援について、そして滋賀県東近江市につきましては、高収益農業を実現するための施策について、そして滋賀県甲賀市につきましては、市の特産であるお茶に関する取組について、京都府和束町につきましては、宇治茶の里づくりについてということで視察を行ってまいりました。

どの市町におきましても先進的な取組ということで非常に勉強になりましたので、今後9月の提言に向けて、こちらのほうも有効に活かしていきたいというふうに思っております。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (4) 文教厚生委員会

○議長（村田博英君）

文教厚生委員会、お願いします。

谷口委員長。

○2番（谷口恵世君）

文教厚生委員会です。

7月11日に文教厚生委員会を開会いたしました。内容は視察研修についてと勉強会の開催について、市民会議の開催について、それから後期の所管事務調査事項についてを協議いたしました。

まず視察研修については、8月21日から23日で岡山市、明石市、京都市に行っております。

それから、勉強会の開催と市民会議の開催については、本日午後からどちらも開催いたします。

それから、後期の所管事務調査事項については、この全協が終わり次第、本日の文教厚生委員会のほうで協議いたします。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (5) 議会広報特別委員会

○議長（村田博英君）

議会広報特別委員会。

種茂委員長。

○8番（種茂和男君）

6月28日に第2回議会広報特別委員会を開催し、ページの構成を決定いたしました。

7月8日に第3回議会広報特別委員会を開催し、ワード原稿の校正を行いました。

また、6月定例会号に関する第1回から第3回の議会広報特別委員会を通して、現在表紙写真の依頼をしております市内公立幼稚園、保育園、こども園の表紙が次号の第76号で終わることから、第77号以降の表紙について検討しました。

検討の内容としては、表紙における題材及びレイアウトの2点となります。

まず題材については、第77号からは市内各小学校におけるコミュニティ・スクール活動の様子とすることに決定いたしました。なお、写真については各学校へ提供を依頼する予定です。

次に、レイアウトについてです。レイアウトについては題材が変更となる第77号以降からは、広報まきのはらと同様の全面写真に変更することに決定いたしました。

理由としましては、全面写真とすることにより、紙面が明るい印象となり、市民の皆さんの目を引くものとなるため、議会だよりの基本方針である、牧之原市議会を知ってもらうため、まずは手に取ってもらえる議会だよりを作成することを目指して変更することとなりました。

以前、第71号発行の際、子供の顔にパンチ穴がかぶってしまうということがあり、当時の委員会において、令和5年9月7日付でパンチ穴は開けない、個人である人を想定し、パンチ穴を開けるスペースも確保するという、今後の編集方針が示されており、第71号以降は写真の左右に均等に余白スペースを取ること、二度と同じようなことが起こらないようなレイアウトとします。

全面写真とすることにより、左右の空白スペースはなくなりますが、各校への依頼する際に右側にスペースを取って撮影していただくことや、委員会において、グラの構成の際に、チェックやトリミングを行い、人物にパンチ穴がかぶらないようにするなどの対策は引き続き行ってまいります。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (6) 議会改革特別委員会

○議長（村田博英君）

議会改革特別委員会。

原口委員長。

○15番（原口康之君）

議会改革特別委員会です。

前回、DXと会派について、二つのグループに分かれたところではありますが、次回からは二つのグループに分かれて進めていきたいと思っています。

日程については、LINE WORKSのほうで、また別途お知らせを申し上げます。以上です。

○議長（村田博英君）

植田議員。

○10番（植田博巳君）

議会広報特別委員会の報告事項の中でちょっとお聞きしたいことがあるんですけども、レイアウトの状況を変えましたよということで、昨年9月7日にいろんな形で事件があった内容について、レイアウトを今後の方針として示したということで、その方針に沿って今回もやるということだと思んですけども、説明している内容が、ちょっとよく分からないんだけど、この方針については9月7日に議員の皆様へ、その当時の委員長から対応及び今後の編集方針ということで周知させていただいて、この内容について、行政連絡会で私のほうから、全て方針については説明させていただきました。

行政連絡委員会に説明して、このパンチ穴を開けた状況の中で、やはり回収もさせてもらいました。1万4,000部を発行した中で、約1万部弱を回収させてもらって、パンチ穴のお子さんの親御さんに了解をいただいて、そういうような形、回収もするというので、その場で終わって、なおかつパンチ穴はいかなるときでも開けないと、子供にかからないというような形で枠を取ってやりますよということで方針が決まっています。

その方針が、まだ去年の9月7日です。まだ1年たっていないんですけども、その中で、やはりできれば私としては、議会としてパンチ穴を開けた親御さんにも説明しておりますし、なおかつ行政連絡会でもこの方針でいきますということで、ちゃんとこういったレイアウトの写真まで見せて報告しています。議会としての対応を講じておりますので、ぜひこれは今後も踏襲していただきたいと思っておりますけど、よろしく願いいたします。

○議長（村田博英君）

種茂委員長。

○8番（種茂和男君）

今、植田議員のほうからそういうような方向性をお話いただきましたけど、この依頼済み委員長報告案の中には、第76号までは現在の方針を継続するというので、委員長報告で各市議会議員、各位殿ということで、令和5年9月7日、原口委員長のほうから、市議会議員各位ということで、議会だより第71号対応及び今後の編集方針についてということで、提出してあります。

とにかく第76号までは踏襲してそのままやるということで、今、植田議員の言われるような懸念事項ですか、それは全面写真にしても必ず余白、余裕のあるようなことを委員会で見ると、かからないというようなことで決めておりますけど、その点について何か問題が。

○議長（村田博英君）

植田議員。

○10番（植田博巳君）

今、種茂委員長から説明がありましたけれども、第71号までの対応という内容がちょっと違うのかなと思います。幼稚園の保育園の子供たちを載せるということが、第76号までの話。それまでは予定してあったので、幼稚園はもうやめたいよと、子供に万が一穴が開くと困るから。

それで、約束事だから、それに載せる幼稚園の子供たちのものは継続をそこまではしますという話がそれなんです。パンチ穴を開けるといのは別途の話で、それは止めましょう、それで両枠をつけましょうというのが継続してやるという、そういう方針です。

そういうことです。第76号まではこの方針ですよが全部じゃないです。写真を載せるか載せないかというところで、今契約しているので、子供たちの写真をいただいているので、その号までは今の表紙を継続しますという、そういう意味です。

○議長（村田博英君）

種茂委員長。

○8番（種茂和男君）

今、植田議員のほうから言われておりますけど、白枠を取るとか、そういう開けるスペースも確保すると、今後の方針にありますけど、同様のレイアウトは第72号に関して、第76号まで踏襲するというのと、白枠に対抗するような写真のあれは委員会としても、必ずそこに白枠を取らなくてもいいような状態で撮影していただくということを、委員会のほうで決めて決定しておりますので、そこら辺をちょっと植田議員のほうも、白枠を取るとイメージ的に全面写真の意味合いが継承されてもおかしくなるものですから、ご理解のほどお願いしたいと思っておりますけど。

○議長（村田博英君）

植田議員。

○10番（植田博巳君）

今、私が言ったのは、牧之原市議会として、方針を市民に示しているものです。それを、そういう中でやはりちゃんと踏襲していただかないと、もしそれが、このまま行っていたかかないと、議会として何で変更したんだという説明を求められると思うんです。だから、私としてはもしそういうふうに議長のほうで判断して、最終的にやるようでしたら、そのお子さんの親御さんところに説明に行っていたきたいと思っております。それと、行政連絡会で変更方針も示してもらいたいと思っております。

以上です。

○議長（村田博英君）

種茂委員長。

○8番（種茂和男君）

そのような経緯であるなら、もしあれならこういうような白枠、今後の方針と、担当のお子さんに行くようでしたら行きますけど、逆にね。それでよろしいなら。

○議長（村田博英君）

植田議員。

○10番（植田博巳君）

それは、全体が議会広報特別委員会で決まりましたけれども、最終的に議長があると判断して、それを発行するとか、発行しないとか、これを変えろとかという権限は議長が持

っていますので、それで、その当時の親御さんところには今の議長も行っていますし、今の広報の委員長も行かれて、状況が分かっていると思いますので、その重みというのが相当大きいものだ。市民の信用を失墜するような内容になると思うので、私はここまで言わせてもらっていますけれども、最終的には議長のほうで、それこそ、どういう方針にするか決めていかれるというふうに判断していますけれども。

○議長（村田博英君）

種茂委員長。

○8番（種茂和男君）

そういった懸念は十分承知しておりますけど、撮影段階において、我々も業界の考えでいくなら、最初からそういう被らないような依頼と、委員会のほうの目もありますので、十分、白桦云々というものより、せっかく見栄えのいい状態で、いろいろな角度からすれば、全面写真という有効性のある中で、あえて白桦云々というのに執着するようでしたら、そこら辺ははっきり議会に関しても委員会のほうで決定しておりますので、また説明するならするし、前のお子さんのほうへ説明へ行けというようでしたら行くし、そういう経緯でおりますけど。

○議長（村田博英君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

今の問題は、時の議長が、当時の議長が議会としての判断として、そういうことだということ、これまで発言している以上、やはりこれは特別委員会という、重い委員会の中の判断もありますけれども、一応議長としっかりそこはしないと、ここでやってもしょうがないと思いますので、そうしたらどうでしょうか。

○議長（村田博英君）

じゃあ、そういうことで、当時私も副議長で、被害者というか、その方は私の近所なので、行っておりますので、事情はよく分かっております。したがって、変えるにしても、対策を十分備えた対策を取って変えるということにしないと、先方もちょっと納得しないと思いますので。

いや議長としてやることはそういうことだと思いますから、この場はそういうことで一旦検討するというにしたいと思います。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

すみません、別件で。

質問ですけど、議運の委員長のほうから6月定例会の振り返りということで報告がありました。その中で、一般質問の中で、かつてない市長が挙手して議長に対して注文を出したということがありました。それについて議運の中で検討したということなんですけれども、その対応策として、研修会ということを言われていました。

かつて一般質問の研修会というのは何回かやった記憶があるんですけども、今回ただ研修会をやっても、講師の先生のそうだという納得する話を聞くだけで、やはり今の牧之原市議会の一般質問の何が問題かということ、しっかり踏まえた中で研修会をやるなら、それに沿った研修会をやっかないと、あんまり意味がないような気がします。

ですので、ぜひとも研修会は当然いろんな意味で必要だとは思いますが、そこをしっかりと踏まえた形でやっていただきたいなど、そんなふうに思います。

それともう一点は、A Iを使ったということが少し報告にありましたけれども、それも使用についてはどうか分からないですけれども、今は、この間D Xの研修会をやりましたけれども、とんでもない時代になっているんですよね。だから何をやろうとしても、人工知能、A Iが全部つくっちゃってくれるという、こういう時代になっている。でも、今この時代の中において、A Iがそうしてつくったものが、個人としてつくったものかどうかという判断というのを、まだしっかり確約がされていないと思うんです。著作権の問題とかいろいろあると思うんですけれども、議会の中でそれについて、やはりルールを確認しておく必要があるかと私は思うんです。

だから、A Iを使ったものはぜひ、使ったにしても個々でやっていけば、それが使ったか使わないか証明できるものはないと思うんですけれども、やはり議員の認識として、その辺はルール化しておく必要があると思うものですから、ぜひともC h a t G P Tを使ってやる通告についてどうだということは、ひとつ確認をしておいてもらいたいと思います。議運のほうで、それについては一度協議しておいてください。そんなふうに思います。

以上です。

○議長（村田博英君）

生成A Iを使ったものというのは、今非常に問題になっているのだというのは、皆さんご存じだと思いますので、その取り扱う業者並びにそういう事業者についても、法律をつくり直しているようです。したがって、罰則規定が出てくるので、それをよく吟味して、例えばD Xでやるとか、これから議会改革特別委員会がやろうとしているところでやるとかというような方法で、確かに一般質問の研修というのは何回かやっているんですよね。私も議運では申し上げましたけど、研修自体をやることには構わないと思いますが、やる内容ですね、これについてよくよく吟味して、方法とかやり方ですね、考えていきたいなと思います。

錯綜しちゃうといけないので、協議事項はありませんので、以上で終わります。

5 その他 （1） 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の結果について

○議長（村田博英君）

それから、その他に移ります。

静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の結果について、事務局からお願いいたします。

浅井次長。

○事務局次長（浅井大典君）

資料3をご覧ください。当議会におきましても、6月定例会最終日に、静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙を実施いたしました。また事務局のほうで取りまとめをいたしまして、当市議会事務局のほうに報告ということで通知がありましたので、ご説明します。

3名の市議会議員の当選人ということで、お一人は山根 一、藤枝市議会議員、小池智

明、富士市議会議員、高橋達也、沼津市議会議員、この3名ということで、当選人の通知がございました。

また、右ページのほうに静岡市から牧之原市まで、それぞれ投票実施日から細かい票数の内訳がございますので、またご覧ください。

説明としては以上となります。

5 その他 (2) 令和6年度静岡縣市町議会議員研修会について

○議長（村田博英君）

次、令和6年度静岡縣市町議会議員研修会について、事務局から報告をお願いします。
浅井次長。

○事務局次長（浅井大典君）

明日ですけれども、静岡縣市町議会議員研修会ということで、明日、木曜日、1時半から15時15分までを予定しております。

なお、市のバスで行くんですけれども、相良庁舎を11時45分、榛原庁舎を12時、それぞれ出発といたしますので、皆様につきましては、どちらかの庁舎に必ず間に合うようにご参集していただきまして、バスに乗ってください。

場所は昨年同様グランシップとなります。

対象といたしましては、全議員ということで、よろしく願いをいたします。

以上です。

5 その他 (3) 第18回東遠議員交流フォーラムについて

○議長（村田博英君）

第18回東遠議員交流フォーラムについて、事務局から説明をお願いします。

浅井次長

○事務局次長（浅井大典君）

東遠議員交流フォーラムですけれども、日時といたしましては7月31日、水曜日、午後2時から7時20分までを予定しております。

これにつきましても、市のバスをご用意しております。先ほど言った時間とまた変わってきますので、お間違えのないようにしていただきたいと思うんですけれども、こちらの東遠議員交流フォーラムにつきましては、逆に今度、榛原庁舎12時45分発、相良庁舎を1時、それぞれ出発ということで、それぞれ間に合うように、どちらかの庁舎のほうにご参集してください。

会場といたしましては、パレスホテル掛川になります。駅の南口にあります。

対象者といたしましては全議員で、これは構成しております掛川市、菊川市、御前崎市、牧之原市の議員さんとなります。

また、タブレットの持参をしていただきますよう、お願い申し上げます。

研修会が2時から5時ということで予定しておるんですけれども、演題といたしましては、地域未来投資促進法についてということで、それぞれ関東経済産業局と静岡県の経済産業局、課長と班長の2名ということで予定をしております。

また、これにつきましては、イとして意見交換会、グループ代表者の発表ということで、

講演内容について各市議会における話題などということで、このテーマで意見交換を行っていただきます。

また、グループにつきましては基本的にはこちらでいうところの総務建設、文教厚生ということで、それぞれ分けて、一つのグループが7人から8人になるよう、今、菊川市と調整をしておりますので、また確定しましたらお知らせをします。

また、テーマのところ、各市議会における話題ということでも入っておりますので、牧之原市においては、東萩間地区のスズキの拡張事業ですね。これが当市における地域未来投資促進法についてということに関わっておるといふことでもありますので、こちらのほうで参考となる資料をご用意いたします。

また、菊川市のほうから今回の講演に関わる資料と併せまして、用意できましたらまたお知らせをいたしますので、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

この意見交換会終了後に、情報交換会ということで、5時20分から7時20分までを予定としておりまして、会場は昨年とは移動はなしで、このパレスホテル掛川で研修会と引き続いて行う予定しておりますが、菊川市の事務局からも話があったんですけども、少し会費のほうがいろんな人件費、様々なものが上がっているということで、今回お一人、すみません、一人8,300円ということで、また当日集金をさせていただきたいと考えておりますので、すみませんがお釣りのないようにご用意していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

5 その他 (4) 議員勉強会について

○議長（村田博英君）

次、議員勉強会について、事務局から報告をお願いします。

浅井次長。

○事務局次長（浅井大典君）

議員勉強会ですけれども、これはエネルギー政策について理解を深めていただくということを目的に実施するもので、第1回といたしまして、5月31日に既に水力発電設備等の視察を実施したところですが、今回は第2回目ということで、8月19日の月曜日の1時半から3時を予定しております。

会場は相良庁舎4階のこちらの大会議室を予定しております。

内容といたしましては、今、仮なんですけれども、グリーントランスフォーメーション、GX実現に向けたエネルギー事情についてということで、大きなテーマは講師の方とも今調整をしておりますので、演題が確定しましたら、また改めてお知らせさせていただきます。

講師は株式会社ユニバーサルエネルギー研究所の代表取締役社長の金田武司氏となります。

対象は全議員及び、せっかくの機会でございますので、昨年同様、当局の部・課長職にも周知いたしまして、参加できる方には一緒に参加していただくよう考えております。

また、資料のほうはまだ届いていないんですけれども、またこのタブレットのほうに保存しますので、また保存できましたらお知らせをいたしますので、当日はタブレットの持

参をお願いします。

また、こちらの勉強会については報道機関への情報提供をさせていただきますので、ご了承ください。

説明は以上です。

○議長（村田博英君）

その他の事項は全て終わりました。

大石議員。

○14番（大石和央君）

確認というか、ちょっとお聞きしたいんですけれども、（４）の議員勉強会、これはずっとやってきて、任意の勉強会なんですけれども、そうした中で、今回もやはり中部電力からの要請というふうになるんですか。

○議長（村田博英君）

浅井次長。

○事務局次長（浅井大典君）

これは中電からの要請というよりも、市議会のほうでいろんなエネルギーに関しての勉強をして知識、経験を深めようということで、市議会から中電のほうに様々なエネルギー政策に今後知識を深めようということで、市議会から中電のほうに依頼をして実施をするということになります。

○議長（村田博英君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

どうせ中電ということになるんですけれども、今回、これでいいんですけれども、この間、能登半島地震が起きて、非常に大きな災害が発生して、本来でしたらば、全員協議会で全員で行く、個人的には当然行くんですけれども、視察をすると。地震防災の観点から、しておくべきかなというふうに思っているんです。

そうした中で、やはり電力に関して言えば、当然、能登半島には原発があります。志賀原発があったんですけれども、やはりこれ想定外の、想定外というか、もともと想定していた地震動ですね。これをはるかに超えてしまったということで、オイルが流出するというような事故もあったりして、いまだに五つある施設の中で全部が回復していない状況なんですね。

だから、そういった意味では、想定したものを大きく超えてしまったということで、そういった報告も必要かなというふうに思うんですね。

そういった意味でいうと、やはりこの勉強会も今回の能登半島地震を踏まえた、そういった勉強会も必要だと思うし、先ほども言いました現地視察ということも、本当に地震防災の観点から必要かなというふうに思っています。

同時に言えば、市からも、原発とは直接関係ないんですけれども、職員が行ってきて、報告も少し受けているんですが、その後どうなのかも含めて、そういった報告も必要かなというふうにも、議会が動くことができなければ、そういう報告も必要かなというふうに思っているんですけれども、また、その辺のところをぜひ協議していただいて、できたら調整することができたら、お願いしたいというふうに思います。

以上です。

○議長（村田博英君）

エネルギーについては、昨今の状況を皆さんはご存じだと思いますので、原発だけではなくて石油、石炭、それから再生可能エネルギー、風力、その他ですね、様々なものが挙げられます。我々議会、議員としても、こういう勉強をしておかないと判断に誤りますので、そういう意味でぜひ実現して、今、大石議員が言われたようなことにつきましても、含めてやっていきたいなというふうに私は思っております。

以上です。

それでは、そのほかありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（村田博英君）

ないようでしたら、以上で全員協議会を終了いたします。

〔午前 10時08分 閉会〕